

情報通信審議会 情報通信技術分科会 ITU 部会

放送業務委員会（第 24 回）議事概要（案）

日時：平成 29 年 3 月 7 日（火）16:00～17:50

場所：総務省 11 階 共用 1101 会議室

出席者：

都竹主査（名城大学）

伊丹委員（東京理科大学）、大寺専門委員（民放連）、川口専門委員（テレビ朝日）、
小島専門委員（フジテレビ）、滝嶋専門委員（KDDI 総合研究所）、西田専門委員（NHK 技研）、
春口専門委員（NHK）、日野専門委員（TBS テレビ）、松井専門委員（電波産業会）、
山内専門委員（NHK 技研）、吉野専門委員（NTT 未来ねっと研究所）

関係者：

三谷氏（NHK）、成清氏（NHK 技研）

事務局：

総務省 情報流通行政局 放送技術課

久恒 課長、小川 技術企画官、佐々木 官、川崎 官

配布資料：

資料 放-24-1： 放送業務委員会（第 23 回）議事概要（案）

資料 放-24-2： 2017 年 3 月 ITU-R SG6 関連会合の概要

資料 放-24-3： 放送業務 WG における検討結果

資料 放-24-4： 外国寄与文書審議表（案）一覧

資料 放-24-5： 日本寄与文書（案）一覧

資料 放-24-6： ITU-R SG6 関連会合への対処方針（案）

資料 放-24-7： 今後のスケジュール（案）

参考資料1： 放送業務委員会構成員名簿

参考資料2： 2016 年 10 月 ITU-R SG6 関連会合後に策定された勧告等

参考資料3： ITU 部会における委員会の設置及び運営について

参考資料4： 西田専門委員説明資料

議事概要

1. 配布資料の確認

事務局より、配布資料の確認が行われた。

2. 主査指名の紹介、主査代理の指名

事務局より、1月に開催された情報通信審議会情報通信技術分科会 ITU 部会において、都竹専門委員が放送業務委員会の主査として指名されたことが紹介された。その後、都竹主査より、伊丹委員が主査代理として指名された。

3. 前回議事概要の確認

都竹主査より、資料 放-24-1「放送業務委員会（第23回）議事概要（案）」に基づき、放送業務委員会（第23回）の議事概要案が確認された。議事概要案について構成員からの意見はなく、案のとおり総務省 HP に掲載することとなった。

4. ITU-R SG6 関連会合への対処について

4.1. ITU-R SG6 関連会合の概要について

事務局より、資料 放-24-2「2017年3月 ITU-R SG6 関連会合の概要」に基づき、2017年3月20日から31日まで開催される ITU-R SG6 関連会合の概要について説明が行われた。ITU-R SG6 関連会合の概要についての質疑はなかった。

4.2. 放送業務 WG における検討結果について

4.2.1. 外国寄与文書への対処方針案について

西田専門委員より、資料 放-24-3「放送業務 WG における検討結果」及び資料 放-24-4「外国寄与文書審議表（案）一覧」に基づき、SG6 及び関連する WP に入力されている外国寄与文書への対処方針案について説明が行われた。外国寄与文書への対処方針案に関する質疑の概要は次のとおり。

4.2.1.1. Doc. 6A/187 等について

- ：WPT（ワイヤレス電力伝送）に関して日本として意見を出す予定はあるのか。
- ：国内では既に基準作りがなされており、SG1 で対応されている。
- ：SG1 での検討は放送業務から離れたところでの検討となるが、こちらからアクションを起こす必要はないのか。
- ：国内では、放送への影響がないように基準作りがなされている。ただし、基準作りの考え方はいくつかあり、国内で合意された考え方と ITU で議論されている考え方は必ずしも同一ではない。ITU としてどうするのかについては SG1 で議論されているところ。
- ：その意味で重要度 B であるということでの了解。

4.2.1.2. Doc. 6B/105 等について

- ：グローバルプラットフォームについて、二つの WP から WP6B の所掌範囲を超えているのではと懸念

が示されている。どういう方向でまとまっていく見通しか。

- ：WP5A と WP5D については WP6B の考えがきちんと理解されていない。懸念されているような所掌範囲を超えることはないということを理解してもらう必要がある。
- ：何らかの整理をするということか。
- ：WP5A のワイヤレス無線や WP5D の IMT には影響しない。放送コンテンツを伝送するための要求条件は検討するが、システムスペックは検討しない。
- ：要求条件がまとまったら WP5A や WP5D に要求条件を満たすことを求めるのか。
- ：放送側の要求を提示し考慮していただきたい。

4.2.1.3. Doc. 6C/158 An. 7 について

- ：一本化が難しいので五つの方式をまとめる、という話で、国ごとにその国の方式を使えば良い、というものだが、どの方式を使っても違いはないのか。
- ：現状、誰も五つの方式を比較していない。一番単純な方式は、リニアマトリクスを用いる方式。映像信号をリニアに変換し、ITU-R 勧告 BT. 2020 と ITU-R 勧告 BT. 709 の表色系の規定に基づいてマトリクスを取って変換する、というのが一番単純な方式。この方式が大方の映像に対して一定程度うまくいくことは知られている。しかし、一部の映像では元の映像との違いが明らかになる。それをいかに改善するかというのが各提案者のノウハウを含めた提案内容。いずれも問題を解決しようとして提案されているものなので、リニアマトリクス方式と比べて良くはなっているが、どの程度なのかは分からない。

4.2.1.4. Doc. 6C/164 について

- ：ITU の公用語は何か。
- ：昔は英語、フランス語、スペイン語だったのが、中国語、ロシア語、アラビア語が追加された。
- ：了。
- ：日本では、評価語として、非常に良い、良い、普通、悪い、非常に悪い、というものを使っており、評価語間の距離が比較的等間隔であると言われている。

4.2.2. 日本寄与文書案について

西田専門委員より、資料 放-24-3「放送業務 WG における検討結果」及び資料 放-24-5「日本寄与文書(案)一覧」に基づき、日本から SG6 関連 WP に入力する予定の寄与文書案について説明が行われた。日本寄与文書案に関する質疑の概要は次のとおり。

4.2.2.1. 寄与文書案 A2 について

- ：26 ページの写真は、著作権の関係で処理されているものと思うが、ブロックノイズが発生しているようにも見える。ぼかすような処理をした方が良くはないか。
- ：23 ページの写真は処理されていないが、何故 26 ページの写真は処理しているのか。オリンピックの競技映像か。
- ：伝送実験実施時に手頃な素材としてリオオリンピックの競技映像を使った。
- ：オリンピック以外のものはないのか。

- ：伝送実験時の写真はこの一枚しかない。
- ：画面を載せる必要はあるのか。
- ：映像としてきちんと通っているということを見せたい。一番分かりやすく明示出来る、という趣旨で付けた図。
- ：ブロックノイズのように見えないぼかし方を検討して欲しい。
- ：検討する。

4.2.2.2. 寄与文書案 B2 について

- ：60 ページの写真は処理しなくて良いのか。
- ：フィギュアスケートの写真なので良い。
- ：了。

4.2.2.3. 寄与文書案 C1 について

- ：88 ページの 2.1.4 の一行目にある「one of our internet services」は、日本の寄与文書としては三人称とすべき。「its」などを使うのが良いのではないか。
- ：御指摘はごもっともであり、「its」で修正する。
- ：VR や AR については今後新たに議論が始まっていくところであり、他国の状況は見えないところであると思うが、WP6C や SG6 でどのように議論が進んでいく見通しか。
- ：今回、日本からは、NHK やキー局で行っている調査の結果を報告している。同様の調査が EBU でも行われている模様、その結果が入力されると聞いている。EBU の調査には NHK の情報も入っている。欧州には BBC もいる。前回会合でレポートが指名されており、現状の世界各国での取組状況が紹介されるはず。さらにその中で期待しているところとしては、コンテンツ制作というところでどのようなことが要求されるのか。ITU-R としては、コンテンツを円滑に交換出来るようにすることが目的の一つ。日本から研究課題草案の修正としても提案する。一方で、まだ放送波の中で VR や AR を実施するという状況には至っていない。一部ハイブリッドキャストの中でやっているものがないわけではないと承知しているが。また、放送のメインストリームになるかということと当面は考えられない。議長としては、すぐにはものにならなくとも、将来を見据えて新しいものにはどんどん取り組んで行きたい。それには何らかの形で答えていただけたらと思っている。

4.2.2.4. 寄与文書案 C3 について

- ：家庭の観視環境として、薄明が輝度の範囲に含まれているが、 $1\text{cd}/\text{m}^2$ が薄明なのか。
- ：ここで「 cd/m^2 」を使って表しているのは、画面を消して、反射率 18% のグレーのカードを置いて、その輝度を測った結果を示している。table1 の中で、 $1\text{cd}/\text{m}^2$ は薄明、 $10\text{cd}/\text{m}^2$ が明るい、ということが分かるようにしている。
- ：日本では明るい環境で見る人が多く、欧州では暗い環境で見る人が多い。薄明は暗いのではないか。
- ：薄明はかなり暗い。明るい、はこのオフィスと同じくらい。

4.3. ITU-R SG6 関連会合への対処方針案について

事務局より、資料 放-24-6「ITU-R SG6 関連会合への対処方針（案）」に基づき、今般の ITU-R SG6 関連会合への対処方針案について説明が行われた。対処方針案についての質疑はなかった。

5. その他

5.1. NHK から入力予定の寄与文書について

西田専門委員より、参考資料 4「西田専門委員説明資料」に基づき、今般の ITU-R SG6 関連会合に NHK から入力予定の手話に関する寄与文書について説明が行われた。NHK から入力予定の寄与文書についての質疑はなかった。

5.2. 今後のスケジュールについて

事務局より、資料 放-24-7「今後のスケジュール（案）」に基づき、今般の ITU-R SG6 関連会合に関する今後のスケジュールについて説明が行われた。今後のスケジュールについての質疑はなかった。

以上